

すうへきとある。 本一ちやほさうと持する。

△山花子と砲 (そのうち)

其まに空に對する。 未だ充分なる材料を持たずと
大膽に批判する事は危險がある。 此一項は修
正を希望す。 抄圖に記すところは不安な反對

△空砲 (そのうち)

方針書中五頁七行目「遊戯者にとり巻かす」を
全部削除。 四頁九行目「階級の対立に於ける
政治的危險は否い」を削除又は修正する事

△阿部寛

日本の前途は如何に云ふかがオミツク。 一々部
にあらうとも。 多分の下味に示す如く級層の階
級をも重なり素とある以上、各々を支持する事は

階級に及ばぬ的なきの初である。

山花氏は批判材料に五―いと云はれ下ろす。 級層の階級未
だ戦術には、山花氏の階級と下と相違が如何に
甚しきものかを自覚し、階級の事と云ふ。

△福部

本邦産業政策。 山花氏修の意見及対する。

△白井 (そのうち)

日本共産党の口々に新憲法と稱してあるが實際に
於ては別名主義者。 案文には及初団体と何ぞ
扱ふ可き。

△第11二二(評議の)

我々が我々の主義を堅持する義政村を目標とするが、
我々の主義を堅持するが、我々の政治